

社会運動資料センター事業 実施報告書

1. 事業概要

- 《目的》 社会運動に関係する資料収集・研究および企画展・セミナーの開催、定期刊行物の購入とその閲覧を行う。
- 《対象》 一般の方誰でも可
- 《期間》 4月1日から3月31日まで
- 《財源》 自主財源から拠出
- 《資産》 ヒューマンわーくぴあ徳島
- 《人員》 専従職員および臨時職員が従事
- 《案内》 チラシを作成して館内に掲示、ホームページ上に告知掲載
- 《内容》 収集した資料は室内に展示し、閲覧可能とした。NPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会などと連携して、社会運動資料センターの運営委員会を設置し、センターの運営や資料の選別については専門家の助言を得て行う。セミナーの講師には専門家を選任する。

2. 運営委員会

1) 第6回運営委員会

日 時 2017年4月25日(火)18:00～20:00

場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島 302号室

出席者 久積(ネットワーク)、田辺(賀川豊彦記念館)、富永(平和センター)、中野(自治研)、森本(連合徳島)、林(労福協)、辻(支援機構)、乾(女性問題研究所)、東條(ストップDV)、齒朶山(解放同盟)
藤原(労働会館)、福本、佐伯(以上、事務局)

2) 第7回運営委員会

日 時 2017年9月19日(火)18:00～20:00

場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島 302号室

出席者 久積(ネットワーク)、田辺(賀川豊彦記念館)、富永(平和センター)、中野(自治研)、川越(全労済)、林(労福協)、辻(支援機構)、乾(女性問題研究所)、東條(ストップDV)、齒朶山(解放同盟)
藤原(労働会館)、福本、佐伯(以上、事務局)

3. とくしま社会運動資料センター閲覧室

- ◇開所日 火曜日から土曜日まで午前10:00から午後3:00まで
- ◇閉所日 日曜日および月曜日国民の祝日、お盆期間、年末年始ほか
- ◇資料センターの業務
 - (1)資料の収集と保全

- (2) 定期刊行物の収集・購入と閲覧
- (3) 公開講座・セミナーの開催
- (4) 企画展の開催
- (5) 社会運動に関する調査・研究
- (6) 研究会の開催
- (7) 社会運動関係団体との連携並びに協力・協働
- (8) その他、目的達成に必要な事項

◇書籍、雑誌など約10,000冊の所蔵のうち約1,200冊を閲覧用として書架に並べています。

◇資料を探す検索コーナーのパソコン端末にて、データベース検索が可能です。ただし図書ID登録済みの書籍・資料に限ります。国立国会図書館サーチで検索したり、また電子書籍の閲覧などにも利用できます。

◇資料の貸出現在のところ、所有蔵書の一部しか整理・データベース化されておりません。準備が整い次第、貸出業務を行う予定です。

◇資料のコピー資料の貸出と同様、準備が整い次第、コピー業務を行う予定です。コピー代は無料です。

◇視聴所蔵DVDの視聴などに利用できます。

4. 公開講座及び企画展

1) 第8回公開講座「大島青松園視察研修－ハンセン病問題の今－」

日 時 2017年11月15日(水)8:15～19:40

場 所 国立療養所大島青松園〔香川県高松市庵治町 6034-1〕

内 容 大島青松園視察研修－ハンセン病問題の今－

講師 十川勝幸氏(徳島県ハンセン病支援協会会長)

参加人数 23名

今回で8回目となる公開講座は、ハンセン病問題について理解を深めるため、現地視察として11月15日、香川県の大島青松園へ視察研修に行きました。会員団体や一般の方23名が参加し、講師には、徳島県ハンセン病支援協会の十川勝幸会長をお招きしました。早朝より中型バスに乗り込み、昭和町を出発、高松港へ向かいました。バスの中では、十川先生による事前学習会が開かれました。高松港に着くと官有船に乗り換え、航路大島へ向かいました。

島に到着すると、松の並木道を抜けて、島の福利厚生施設である大島会館へと向かいました。参加者一同は荷物を置くと、早速フィールドワークへ出かけました。療養所福祉室の元山さんが案内役を引き受けて下さりました。遍路道を歩きながら、納骨堂、火葬場、小石を積み重ねたモニュメント「風の舞」、キリスト教の教会や神社、寺院、そして解剖台を見学しました。

フィールドワークを終え大島会館に戻ると、入所者の方との交流会が始まりました。入所者協議会の会長・森和男さんの他、大智慶巳さん、東條高さん、西野ミエ子さんと、4名の方が参加して下さり、講師の十川さんがコーディネーター役となりました。

交流会には、香川大学医学部の整形外科の研修生7名が加わっていました。医学研修の1コマで、月に一度は訪問しているそうです。森さん、大智さん、東條さん、西野さん、それぞれ「9歳で島に連れて来られた」「父親から、いい所に連れて行ってやる、と言われ大島に来た」「(籍元制度により)他の患者の包帯を巻いていた」「療養生活を送りながら家庭菜園を楽しんでいる」「(幼少期、島に来るまでは)人を見たら隠れていた」と当時の心境を述懐されました。入所者の方は皆ご高齢であり、入所者数は年々減っているそうです。この日も私たちが島に入っすぐ、入所者の方お一人が他界されたとの訃報を聞きました。

約2時間の交流を終え、お別れの挨拶を交わした後、大島会館を後にしました。帰りの船に乗り込む頃は、もう夕暮れ時となっていました。船上から見る大島は、恐らく気候の良い季節に訪れるとリゾート地とも思えるような綺麗な島でした。今回の研修では、ハンセン病患者に対する忌まわしい記録、差別を受けた歴史、人権侵害の歴史を感じ取ることができました。実地研修ということで、やはり本やパンフレットだけでは伝わらないものを多く学ぶことができました。



2) 特別企画「一ハンセン病問題の今」パネル展

日 時 2017年12月5日(火)～12月13日(水)10:00～15:00

場 所 ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホール

内 容 ハンセン病について正しく理解するための学習用パネル/
ハンセン病というペールに包まれた作家・北條民雄のパネル

参加人数 62名

12月5日(火)から12月13日(水)までの間、ヒューマンわーくびあ徳島5F大ホールにて特別企画「一ハンセン病問題の今」パネル展を開催しました。労働福祉会館の関係団体をはじめ、任意団体やNPO法人の代表の方など、一般来館者を含めて65名の方が訪れました。

今回展示した写真パネルについて、「ハンセン病について正しく理解するための学習用パネル」は徳島県保健福祉部健康増進課より、「ハンセン病というペールに包まれた作家・北條民雄のパネル」は阿南市文化振興課より、それぞれお借りました。





5. 社会運動に関する調査・研究

1) 部落史資料作成に関する協議

協議メンバー： 関口(四国大)、長谷川(県立博物館)、生駒(徳島市立高)、
久積(センター長)、中野(運営委員)、藤原(法人理事長)

◇第1回検討会議 2017年6月10日(土)15:00～

:

◇第9回検討会議 2018年3月26日(月)15:00～

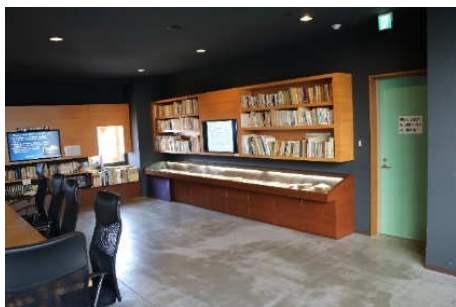
2) 賀川記念館及び大阪人権博物館視察

日 時 2018年3月13日(火)～3月14日(水)

場 所 賀川記念館[神戸市中央区吾妻通 5-2-20]、

リバティおおさか(大阪人権博物館)[大阪市浪速区浪速西 3-6-36]

参加者 運営委員、理事・監事ほか、5名



6. 周知広報

○新聞紙面に告知掲載

| | | |
|-----|----------------------|----|
| 16土 | 湯藤さん ☎090(7148)6680。 | しい |
| 17日 | ★「ハンセン病問題の今」 | う。 |
| 18月 | パネル展 5～13日10～15 | ど |
| 19火 | 時、徳島市昭和町の県労働福 | も |
| 20水 | 祉会館。ハンセン病について | リ |
| 21木 | 正しく理解するための学習用 | ★ |
| | パネル、ハンセン病というペ | ク |
| | ールに包まれた作家・北條民 | ラ |
| | 雄のパネルを展示する。入場 | 時、 |
| | 無料。とくしま社会運動資料 | 笑 |
| | センター ☎088(602)0532。 | い |
| | ★山と花の思い出写真展 | 組 |
| | | み |
| | | る。 |
| | | 清 |
| | | 水 |
| | | ★ |

徳島新聞「情報とくしま」(2017.12.4)

○チラシの作成・配布



○ホームページ上に告知掲載



<http://workpia-tokushima.jp/> 『WHAT'SNEW』内

7. 機関誌・発刊物の作成

○『資料センター通信 Vol.5』(発行 2017.11.28)

○『大島青松園視察研修－ハンセン病問題の今－』報告書



8. その他

○徳島新聞の取材記事



2017.12.9 徳島新聞(夕刊)

2017.12.12 徳島新聞

地域ふれあいフェスタ事業 実施報告書

1. 事業概要

- 《目的》 『支え合い』『家族の絆』等をテーマとして、木工教室、切り絵、おもちゃ教室、映画会、ブース出店、絵画の募集と表彰などのイベントを行う。
- 《対象》 一般の方誰でも可とした。
- 《期間》 8月21日
- 《財源》 自主財源から拠出した。
- 《資産》 ヒューマンわーくぴあ徳島
- 《人員》 専従職員および臨時職員が従事した。
- 《案内》 チラシを作成して館内に掲示し、ホームページに告知掲載した。
- 《内容》 ”県内勤労者の拠点”である会館で『支え合い』『家族の絆』等をテーマとした無料参加のフェスタを行うことは、「勤労者の福祉の向上を目的とする事業」に関連すると考えられる。運動方針でもある”地域に開かれた会館づくり”の一環として、無料参加のフェスタを行うことは、「地域社会の健全な発展を目的とする事業」に関連すると考えられる。広く一般の方が参加可能とし、無料とした。地域へのチラシ配布、新聞紙面への広告、ホームページに掲載等、広く周知を行った。それぞれの分野のNPO・ボランティア団体と連携し、木工、絵手紙、おもちゃ教室等を出店した。

2. 各イベント

2017 地域ふれあいフェスタ in わーくぴあ

日 時 2017年8月20日(日)
場 所 ヒューマンわーくぴあ徳島
参加人数 約170名

夏の恒例イベント、今年で第4回目を迎える「2017 地域ふれあいフェスタ in わーくぴあ」が、8月20日(日)、ヒューマンわーくぴあ徳島にて開催されました。「地域の支え合い」「家族の絆」をテーマとして、労働者福祉事業団体、NPO・ボランティア団体などの協力のもと様々な子供向けイベントが行われ、地域の方や親子連れなど約170名が来館しました。

子供達はスタッフの指導のもと熱心に本棚や陶器カップを作り、出来栄えに大変満足そうにしていました。また絵手紙教室では、保護者の方も一緒になって筆を走らせていました。親子撮影会は毎年定員オーバーとなる人気コーナーで、今年は38組の親子が記念撮影を行いました。その他、フードバンクとくしまによる人形劇や、バルーンアート教室、おもちゃ工作などの各ブース、そしてクレエール、いのちのさと、キノコハウスによる飲食コーナー、リサイクルショップ a・ya の小物販売、ボランティア友の会によるドリンク・お菓子サービス、ヘアアクセサリー販売など、各コーナーとも賑わっていました。

大人気の陶芸教室、木工教室は定員 30～40 名としていましたが、事前予約で既にいっぱいとなり、当日受付でキャンセル待ちと聞かされると、残念がる子供がたくさんいました。同様に、おもちゃ工作コーナーでは電動工作キットのドラえもんが当たらず、目に涙を浮かべる子供もいました。会館は夕暮れ時まで喧噪に包まれ、4時間があっという間に過ぎ、子供達の夏休みの思い出となりました。

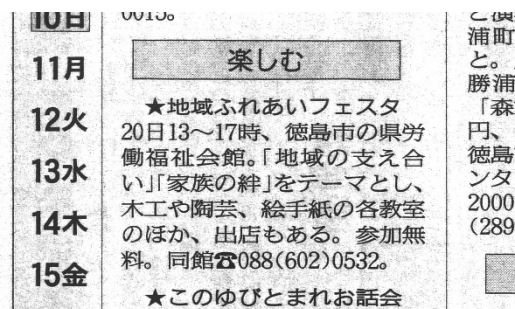


《主な出展団体》

- ・だいやま陶芸村 ・フレッセ/壮生 ・日本絵手紙協会 ・出張スタジオ・サークル
- ・クレエール ・リサイクルショップ a・ya ・キノコハウス ・いのちのさと ・ボランティア友の会ひまわり

3. 周知広報

- チラシの作成・配布
- 徳島新聞に掲載



徳島新聞「情報とくしま」
(2017.8.19)

- ホームページに告知掲載



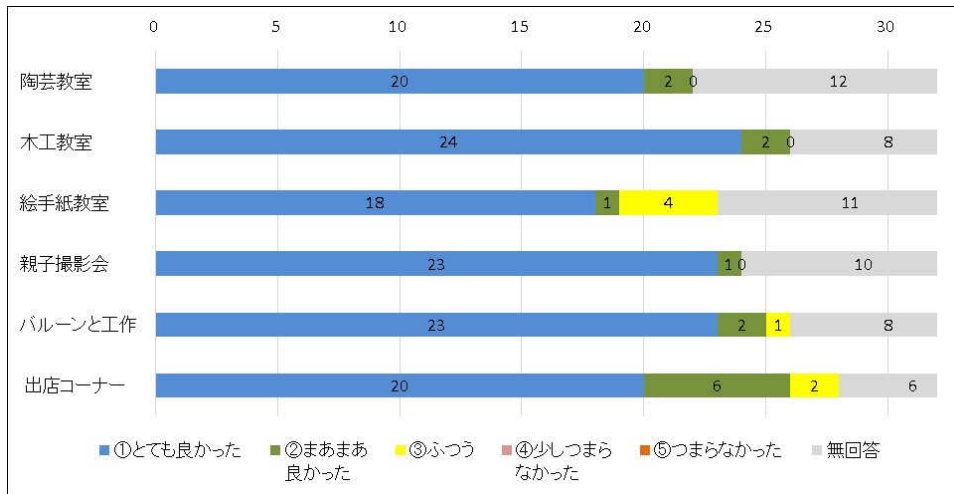
<http://workpia-tokushima.jp/> 『WHAT'SNEW』内

4. アンケート

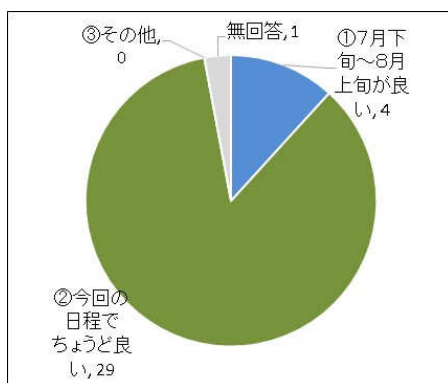
『2017 地域ふれあいフェスタinわーくぴあ』 参加者アンケート結果

回答数者34人

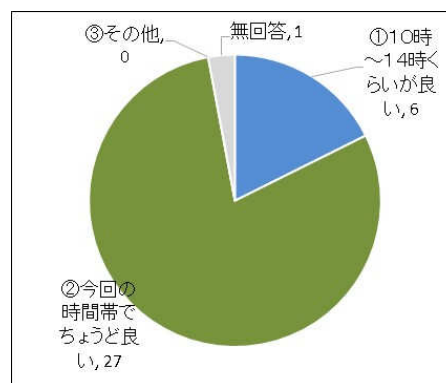
【1】各イベントはどうでしたか？



【2】日程はどうでしたか？



【3】時間帯はどうでしたか？



【4】自由意見欄

| |
|--|
| ●ハンドスピナー(アンケートの景品)、子ども二人とも欲しがっているので、是非お願いします。 |
| ●いろんな体験ができるので、とても楽しかったです。 ●楽しかったです。来年もぜひ来たいです。 |
| ●陶芸が本格的でびっくり!!とてもいい経験になりました。 ●子供と向き合う時間が増え、来年も楽しみにしています。 |
| ●子供共々、楽しかった。毎年参加しております。●陶芸で下の子が「手が汚れるー」と半べそをかいて面白かったです。 |
| ●木工作品を夏休みの工作として学校へ持って行きたかったけど、少し重そうです。もう少し小さめがいいかも…。 |
| ●楽しかったです。来年も楽しみにしています。 ●様々なコーナーがあり、子どもはとても喜んでいました。 |
| ●赤ちゃん連れだと外では遊びにくいので、本当に楽しく過ごせました。 ●楽しかった。ありがとうございました。 |
| ●陶芸と木工は、キャンセル待ちで参加できませんでした(昨年は参加できて、とてもよかった)。 |
| ●去年みたいな映画もして欲しかったです。教室は毎年同じなので、違った教室もしてみたい。 |
| ●陶芸したかったので、残念でした。 ●いろんなコーナーがあり、子供もとても喜んでいました。また来たいです。 |
| ●バルーンもらえて、とても喜んでいました。輪投げやビンゴなどもあればいいなと思いました。 |

1. 事業報告

(1) 会館運営について

- ・一般社団法人への移行及び第2期中期経営計画の4年目である本年度は、一般社団法人としての法人運営を基本として、経営の健全化と安定化に努めました。
- ・受動喫煙防止のため 2017年4月1日より館内全面禁煙(本館・別館)としました。
- ・本館7F屋上にKDDIアンテナ基地局の受信機増設工事を行いました。
- ・消防訓練、普通救命講習を実施しました。

(2) 管理業務委託について

- ・会館運営を効率的に行うため管理業務をNPO法人「壮生」に委託し、シニアのワークシェアリングによる働く場作りによる会館運営を行いました。
- ・わーくびあ運営に関するさまざまな課題に対しては、定期協議の他、随時運営事務局と連携し、日常的な事務局段階での話し合いで対応しました。

(3) 法人運営について

- ・本年度は 1,960,000 円の会費収入がありました。
- ・2013 年度臨時総会の決議に基づく公益目的支出計画に従い、行政庁の監督のもと実施事業を行いました(※1)。公益目的財産額は、124,916,879 円(算定日 2014 年 3 月 31 日)であり、当該事業年度の公益目的支出の額は 3,633,205 円(※2)、当該事業年度の実施事業収入の額は 0 円、当該事業年度の公益目的収支差額は 13,070,500 円、当該事業年度末日の公益目的財産残額は 111,846,379 円となりました。

※1 実施事業の状況は別冊報告書を参照ください。

※2 支出明細は 2017 年度正味財産増減計算書内訳表をご参照ください。

- ・会員数は 75 会員であります。
- ・会員団体の産別組織への一元化への取組について、昨年度より引き続き、各組織への説明訪問に伺いました。

(4) 新館建設を展望した検討委員会について

- ・将来の新館建設を展望した検討委員会を設置し、第4～6回委員会を開催しました。2018年3月15日付にて、委員会より労働福祉会館に答申書が提出されました。[別冊:答申書]

(5) 財務状況について

- ・本年度の総資産は 227,650,237 円となりました。
- ・収入は、54,340,932 円、うち事業収入 53,891,827 円、事業外収入 449,105 円となりました。
- ・支出は、6,689,867 円の減価償却費を含めて 45,562,947 円となりました。法人税等充当金は 1,664,700 円となりました。
- ・四国労働金庫から 35,227,234 円を借り入れしていますが、今年度は 2,856,346 円の返済を行いました。その結果、借入残高は 32,370,888 円となりました。尚、徳島県及び徳島市よりの借入金が

昨年度を以て完済したため、理事会の決議に基づき、2018 年度より四国労働金庫の借入金を繰り上げ返済することとしました。

(6)労働者福祉運動の支援について

- ・労福協を中心として実施された様々な労働者福祉事業に協力し、積極的に参加しました。
- ・シニアライフを支援するNPO法人「壮生」の活動として、折り紙教室、パソコン講座等を開催しました。
- ・障害者の就労支援として、駐車場管理を引き続きNPO法人「徳島県腎臓病協議会」へ再委託しています。
- ・障害者の自立支援を行うNPO法人「Creer」の活動として、お弁当の館内販売を行いました。
- ・同じく障害者支援を行うNPO法人「いのちのさと」、NPO法人「きのこハウス」、学校法人「光の村学園」による野菜・お菓子等の館内販売を行いました。
- ・連合ボランティアサポート養成講座、部落解放人権講座、ごみゼロ阿波踊り大作戦などに参加しました。
- ・自殺予防活動協力機関として、講演会、研修会、街頭啓発活動に参加しました。
- ・「いきいき安心とくしま子ども食堂」「シニアカフェ グランマ」「フードバンクとくしま越年支援」に、それぞれ協力しました。
- ・地域のために活動するNPO法人や市民活動団体を支える「ハートフルゆめ基金とくしま」に寄付しました。

(7)公益目的事業について

・社会運動資料センター事業

公益目的支出計画に基づく事業として社会運動資料センター事業を実施しました。賀川豊彦をはじめとする社会運動に関する資料、とりわけ団塊の世代の書籍・資料の収集を図り、同時に公開講座を開催しました。

具体的には、運営委員会を設置し、センターの運営や資料の選別については専門家の助言を得て行いました。公開講座では、ハンセン病問題について学ぶため香川県の大島青松園へ視察研修に行きました。講師として徳島県ハンセン病支援協会の十川会長を迎え、案内役・世話役も兼ねて頂きました。

収集した資料は室内に展示し、一般の方誰でも閲覧可能としました。公開講座はチラシを作成して館内に掲示、またホームページや新聞に告知掲載しました。[別冊:実施報告書]

・地域ふれあいフェスタ事業

公益目的支出計画に基づく事業として地域ふれあいフェスタ事業を行いました。今年度も『支え合い』『家族の絆』等をテーマとして、親子陶芸教室、親子木工教室、絵手紙教室、親子の無料撮影会、飲料・軽食・小物販売コーナーなどの家族向けイベントを8月に開催しました。広く一般

の方が参加可能とし、参加無料としました。広報については、地域へのチラシ配布、新聞紙面への広告、ホームページに掲載等、広く周知を行いました。[別冊:実施報告書]

2. 活動記録

| 日時 | 内 容 | 備 考 |
|---------|--------------------------|--------------|
| (2017年) | | |
| 6 14 | 労働福祉会館第4回通常総会 | 502号室 |
| 〃 | 労福協第7回定期総会 | 〃 |
| 24 | フードバンク第4回通常総会 | 302号室 |
| 〃 | 連合徳島ボランティア養成講座 | 502号室 |
| 7 7 | 「賀川豊彦現代的意義」講演会 | 四国大学交流プラザ |
| 10 | 第17回わーくびあ徳島の運営に関する定期協議 | 302号室 |
| 13 | 第95回国際協同組合デー | 阿波観光ホテル |
| 8 8 | 徳島地方自治研究所2017年度通常総会 | 自治労プラザ |
| 9 | 労働者福祉の拡充に向けた6団体会議 | 労福協ミーティングルーム |
| 〃 | 県民と働く者のとくしまフェスタ2017実行委員会 | 502号室 |
| 12 | ごみゼロ阿波踊り大作戦2017(～15日) | 市役所北旧エアトラベル前 |
| 20 | 地域ふれあいフェスタ2017 ★ | ヒューマンわーくびあ徳島 |
| 25 | 第28期部落解放人権講座 | 県職員会館 |
| 26 | 連合徳島ボランティア養成講座 | 徳島県立海部病院 |
| 9 1 | 第28期部落解放人権講座 | 県職員会館 |
| 2 | 高齢社会をよくする女性の会 全国大会 | アスティとくしま |
| 5 | 県民と働く者のとくしまフェスタ2017実行委員会 | 502号室 |
| 9 | 徳島県自殺予防講演会 | 徳島グランヴィリオホテル |
| 13 | 連合徳島ボランティア養成講座 | ふれあい健康館2階 |
| 15 | 第28期部落解放人権講座 | 県職員会館 |
| 16 | 労働者福祉団体研修会 | 502号室 |
| 19 | 資料センター第7回運営委員会 ★ | 302号室 |
| 22 | 第28期部落解放人権講座 | 柳島中之島総合センター |
| 10 3 | 法人統合に関する専門家会議(新館建設委員会) | 労働会館 |
| 7 | 「協同」2017全国集会 | 滋賀県立芸術劇場 |
| 13 | 2017年度西部労福協交流事業 | 徳島県三好市 |
| 24 | 庫倫旗第1中学代表団歓迎レセプション | 阿波観光ホテル |
| 26 | フードバンク年越支援運営委員会 | 302号室 |
| 〃 | 西部会館協第30回定期総会 | 広島労働会館 |
| 28 | 第10回わーくびあフェスタ | 5F大ホール |
| 11 4 | よりそいホットライン報告会 | 502号室 |
| 7 | 「ハートフルゆめ基金」第5回円卓フォーラム | 沖洲マリンターミナル |
| 9 | 西部労福協第36回研究集会 | 岡山市 |
| 11 | 連合徳島ボランティア養成講座 | 502号室 |
| 〃 | 第6回手をつなぐ育成会 中四国大会 | 徳島グランヴィリオホテル |
| 15 | 第9回公開講座「大島青松園視察研修」 ★ | 高松市庵治町 |
| 20 | 労福協第2回理事会 | 502号室 |
| 21 | 徳島県自殺対策パワーアップ研修会 | 県庁11階 |
| 24 | 第25回労働者福祉メーデー | 徳島グランヴィリオホテル |
| 29 | ろうきん第2回徳島ブロック推進委員会 | ホテル千秋閣 |

| | | | |
|---------|----|-----------------------------|---------------|
| 12 | 2 | 合同研修旅行 | 小豆島 |
| | 〃 | シニアカフェ映画会(梅津龍太郎) | 5F 大ホール |
| | 5 | 労働者福祉関係6団体による徳島県要請 | 徳島県庁 |
| | 〃 | 「-ハンセン病問題の今-」パネル展(~12日) ★ | 5F 大ホール |
| | 14 | 法人統合に関する専門家会議(新館建設委員会) | 労福協ミーティングルーム |
| | 20 | 消防・防災訓練 | 502号室 |
| | 21 | クリスマスパーティ&紅白歌合戦 | 5F 大ホール |
| | 25 | 労働者福祉関係6団体による徳島市要請 | 徳島市役所8階 |
| | 28 | 仕事納め | |
| | 30 | フードバンク年越支援 | フードバンクとくしま |
| (2018年) | | | |
| 1 | 4 | 仕事始め | |
| | 9 | 新年旗開き(連合徳島) | 徳島ワシントンホテル |
| | 13 | とくしま輝く女性・交流パネルディスカッション | フレアとくしま 2F |
| | 26 | 〈第5回〉新館建設検討委員会 | 502号室 |
| 2 | 1 | 労働者福祉の拡充に向けた6団体会議 | 労福協ミーティングルーム |
| | 5 | 労働福祉会館第2回理事会 | 502号室 |
| | 15 | 西部労福協第48回定期総会 | 島根県松江市 |
| | 21 | テレワーク研修会「働き方改革」セミナー | JR ホテルクレメント徳島 |
| 3 | 11 | 2018年syuntoふれあいデー | あすたむらんど徳島 |
| | 13 | 賀川記念館及び大阪人権博物館視察研修(~14日) ★ | 神戸市・大阪市 |
| | 15 | 〈第6回〉新館建設検討委員会 | 502号室 |
| | 17 | 平成29年度自殺対策強化月間街頭啓発 | ゆめタウン徳島 |
| | 23 | 労福協第3回理事会 | 502号室 |
| | 〃 | 労働福祉会館第3回理事会 | 502号室 |
| 4 | 22 | 被爆アオギリ二世 植樹3周年平和記念の集い | 三好市健康とふれあいの森 |
| | 23 | 資料センター第8回運営委員会 ★ | 302号室 |
| | 28 | 「子ども食堂ってどんなところ？」湯浅誠講演会 | ふれあい健康館 |
| 5 | 1 | 西部会館協第17-03幹事会 | 愛媛県勤労会館 |
| | 11 | 2018年度西部労福協交流事業 | 高知市 |
| | 12 | 安倍内閣総辞職を求める徳島県民緊急行動 | 徳島駅前 |
| | 20 | あわ〜徳島会員12,000人突破記念感謝と交流のつどい | ホテルクレメント徳島 |
| | 21 | 丹東市総工会第10次訪日団歓迎レセプション | 徳島ワシントンホテル |
| | 24 | 会計監査 | 302号室 |
| | 25 | NPO法人壮生第10回通常総会 | 302号室 |
| | 26 | 賀川豊彦記念・鳴門友愛会第17回通常総会 | 鳴門市賀川豊彦記念館 |
| | 28 | 第9回公開講座「戦後労働運動と働き方改革」 ★ | 5F 大ホール |
| | 29 | 労働福祉会館第4回理事会 | 502号室 |
| | 〃 | 労福協第4回理事会 | 502号室 |
| 6 | 2 | フードバンクとくしま第5回通常総会 | 502号室 |
| | 4 | 中央労福協2018年度全国研究集会 | ホテルグランヴィア岡山 |
| | 〃 | ろうきん徳島支店会員代表者会議 | ホテル千秋閣 |
| | 15 | モンゴル国との交流(~20日) | モンゴル |
| | 22 | 労働福祉会館第5回通常総会 | 502号室 |
| | 〃 | 労福協第7回定期総会 | 502号室 |

注)不参加行事も含む ★ 公益目的事業